

様式第 2 3 号（第 5 条関係）

令和 7 年 3 月 31 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市吉田 2 1 6 9 - 3
協 議 会 名	吉田地区まちづくり協議会
協 議 会 長 名	会長 廣井 滋季

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）
変更申請書（兼）実績報告書

令和 6 年 4 月 1 日付け笠岡市指令協第 252 号で交付決定を受けた交付金について、次のとおり交付額の変更を申請します。併せて、次のとおり活動が完了したので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第 5 条の規定により関係書類を添えて報告します。

記

- 1 変更交付申請額 85,075 円
（交付金決算額）

〔内訳〕 (単位：円)

交付決定額 ①	変更交付申請額（交付金決算額）		返還額 ④
	当該年度支出額 ②	次年度繰越額 ③	
175,000	85,075	0	89,925

- 2 交付金が減額変更になった理由

活動No.1 道路花壇の維持による環境美化活動：県道の工事により1ヶ所の花壇が撤去となり、花苗の植え付け作業をしなかったためと、自宅で育てた花苗の寄付があり、花苗の購入代金が減ったため。
活動No.2 吉田マッププロジェクト：計画していたウォークラリーを1回しか開催できなくて、参加者も少なかったため。

【添付書類】

- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書（様式第 2 4 号）
- 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書
(様式第 2 5 号又は様式第 2 5 号の 1)
- 支払書類（レシート等）の原本（活動ごとに取りまとめたもの）
- 事業の実施状況がわかる写真及び成果品
- その他参考となる書類

様式第24号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 吉田地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	道路花壇の維持による環境美化活動
前年からの繰越金	○あり ●なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	地区内道路に設置されている花壇に、1年を通して花を咲かせることにより、ゴミのポイ捨て場所になることを防止し、通行する人や地域住民に癒しを与え、地域の環境美化に寄与する。
【効果】	・年間を通して、地域住民や通行する人達に、季節感を感じてもらえる。 ・維持管理しないと、ゴミ捨て場所になりがちな道路花壇をなくすることになる。

2 実施期間

令和 6 年 5 月 25 日 ～ 令和 7 年 3 月 15 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

笠岡市吉田 山手地区（吉田小裏）、田平地区（田平大師花壇）、尾坂地区（尾坂バス停前）

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 87 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 4 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 83 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 山手地区ふれあい花壇ボランティアグループ ， （団体名） 田平大師花壇ボランティアグループ
 （団体名） 尾坂白寿会 ， （団体名）

5 実施内容

吉田地区内3ヶ所の道路花壇で、計7回の花壇整備と花苗の植付けを行った。
 4ヶ所の道路花壇のうち、1ヶ所が道路工事の対象となって、花壇が無くなり、花苗の植え付けができなくなった。

6 決算額

61,735 円（うち交付金分 61,735 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	年間を通して地域住民や通行する人達に季節感を感じてもらえることができ、癒しを与えることができた。 道路花壇がゴミのポイ捨て場になるのを防止することができて、地域の環境美化に貢献できた。 交付金を受けることで、活動を継続することができた。
【課題】	活動の参加者が固定化しており、新しい活動参加者が増えていない。 活動参加者の高齢化も一層進み、活動の休止に追い込まれる時期が来るのではと危惧している。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 吉田地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	道路花壇の維持による環境美化活動

【収入の部】

(単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 121,000	121,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	121,000	121,000	0	

【支出の部】

(単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費	6,000	0	6,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	115,000	13,321	101,679	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
需用費・原材料費	0	48,414	△ 48,414	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	121,000	61,735	59,265	決算額のうち市交付金分 ② 61,735

市交付金の余剰金 ①－② 59,265 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 59,265 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 道路花壇の維持による環境美化活動

費目	需用費	食糧費
----	-----	-----

No. 1 ↑ドロップダウンリスト
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	6	15	ディオ井原東店	山手ふれあい① お茶代 73円×8 +税	630	630
2	6	6	22	ニシナフードバスケット矢掛小田店	田平大師① お茶代 68円×9 +税	660	1,290
3	6	7	7	川上食料品店	尾坂バス停前① 缶コーヒー代 100円×17	1,700	2,990
4	6	12	3	ニシナフードバスケット矢掛小田店	田平大師② お茶代 88円×7 +税	665	3,655
5	6	12	15	川上食料品店	尾坂バス停前② 缶コーヒー代 110円×13	1,430	5,085
6	7	3	13	ニシナフードバスケット矢掛小田店	田平大師③ お茶代 88円×7 +税	665	5,750
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						5,750	

出 納 簿

交付金区分

活動交付金

活動名

道路花壇の維持による環境美化活動

費目

需用費

消耗品費

No.

1

↑ドロップダウンリスト
から選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	6	25	ジュンテンドー矢掛店	田平大師① 手袋代 891円 +税	980	980
2	6	6	13	ジュンテンドー矢掛店	田平大師① 腐葉土 1410円 +税	1,551	2,531
3	6	12	3	ジュンテンドー矢掛店	田平大師② 手袋代 891円 +税	980	3,511
4	6	12	15	販売店	尾坂バス停前② 肥料代及び耕運機使用料	2,000	5,511
5	6	11	14	ジュンテンドー矢掛店	山手ふれあい② ゴム手袋 891円+税	980	6,491
6	7	3	13	ジュンテンドー矢掛店	田平大師③ 手袋 982円 +税	1,080	7,571
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						7,571	

道路花壇の維持による環境美化活動

需用費・原材料費

1

[illegible]

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 1

協議会名	吉田地区まちづくり協議会
活動名	道路花壇の維持による環境美化活動

活動目的	地区内道路に設置されている花壇に、1年を通して花を咲かせることにより、ゴミのポイ捨て場所になることを防止し、通行する人や地域住民に癒しを与え、地域の環境美化に寄与する。
実施内容	吉田地区内3ヶ所の道路花壇で、計7回の花壇整備と花苗の植付けを行った。 4ヶ所の道路花壇のうち、1ヶ所が道路工事の対象となって、花壇が無くなり、花苗の植え付けができなくなった。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	3
	活動の目的・効果を地域の人みんなで共有することができたか。	4
	活動に参加するみんなで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	3
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	4
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	4
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	4
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてみんなで話し合うことができたか。	3
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	4
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	4

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
年間を通して地域住民や通行する人達に季節感を感じてもらうことができ、癒しを与えることができた。 道路花壇がゴミのポイ捨て場になるのを防止することができて、地域の環境美化に貢献できた。 交付金を受けることで、活動を継続することができた。	活動の参加者が固定化しており、新しい活動参加者が増えていない。 活動参加者の高齢化も一層進み、活動の休止に追い込まれる時期が来るのではと危惧している。
今後の活動の方向性・改善策	
新しい活動参加者を増やすよう、活動の周知に努める(広報誌の活用) 住民の同意を得て、花壇を増やしていくことを考える。	

様式第 2 4 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動実績明細書

協議会名 吉田地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	吉田マッププロジェクト
前年からの繰越金	☐ あり ☒ なし

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	令和5年度、吉田公民館とまちづくり協議会が協働して開設した「吉田マップ講座」の成果である「てくてく吉田さんぽマップ」を地区住民に配付し、吉田のいいところを知ってもらう。又、マップを使って、いいところをめぐるウォークラリーを開催する。
【効果】	吉田地区のいいところを、地区住民にあらためて知ってもらうことで、いま住んでいる吉田にもっと愛着をもってもらえることができる。

2 実施期間

令和 6 年 5 月 11 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

吉田公民館、吉田地区内

4 活動に関わった人数・団体

○総人数： 16 人（ア＋イ）
 （内訳）企画運営に関わった人数： 6 人（ア）
 その他関係人数（当日参加者等）： 10 人（イ）
 ○団 体： （団体名） 吉田地区まちづくり協議会 ， （団体名） 吉田公民館
 （団体名） 新吉中学校 ， （団体名）

5 実施内容

完成した「てくてく吉田さんぽマップ」を1,800部印刷し、地区内全戸に配付した。小学校・中学校の児童生徒にも配付して、総合学習の中で利用してもらった。市内まちづくり協議会、公民館にも配付して、吉田のいいところの広報を行った。又、新吉中の総合学習の中で、プロジェクト新吉として中学生がマップを使ったウォークラリーを企画・実施した。

6 決算額

23,340 円（うち交付金分 23,340 円）

7 活動実施による成果及び課題

【成果】	「てくてく吉田さんぽマップ」を全戸配付し、吉田のいいところをより多くの住民に知らせることができた。又、マップを使って中学生の企画運営で、吉田のいいところをめぐるウォークラリーを実施した。
【課題】	「てくてく吉田さんぽマップ」を使って地区内を巡るウォークラリー等の行事を、どれだけ継続して行われるかが課題。又、30年前に公民館が作成した「ふるさとよしの史跡」の再編集にどのように取り組んでいくかも課題。

様式第 2 5 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支決算書

協議会名 吉田地区まちづくり協議会

活動N o	2
活 動 名	吉田マッププロジェクト

【収入の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
市交付金	① 54,000	54,000	0	当該年度分
その他収入	0	0	0	
			0	
			0	
			0	
計	54,000	54,000	0	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	予算額	決算額	差引	摘 要
報償費	12,000	0	12,000	別紙「出納簿」のとおり
旅費		0	0	〃
需用費	42,000	23,340	18,660	〃
役務費		0	0	〃
使用料及び賃借料		0	0	〃
備品購入費		0	0	〃
0		0	0	〃
0		0	0	〃
			0	
			0	
計	54,000	23,340	30,660	決算額のうち市交付金分 ② 23,340

市交付金の余剰金 ①－② 30,660 円

市交付金の余剰金のうち

次年度繰越額 ③ 0 円 返還額 ④ 30,660 円

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

出 納 簿

交付金区分 活動交付金

活動名 吉田マッププロジェクト

費目 需用費 印刷製本費

No. 1 ↑ドロップダウンリストから選んでください。

No.	年	月	日	支払先	摘 要	支出額	支出累計
1	6	8	20	ラクスル株式会社	マップ印刷代 1300部 13106円+税	14,417	14,417
2	6	10	2	ラクスル株式会社	マップ印刷代 500部 8112円+税	8,923	23,340
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
No. 1 小 計						23,340	

自己評価シート

(令和 6 年度)

No. 2

協議会名	吉田地区まちづくり協議会
活動名	吉田マッププロジェクト

活動目的	令和5年度、吉田公民館とまちづくり協議会が協働して開設した「吉田マップ講座」の成果である「てくてく吉田さんぽマップ」を地区住民に配付し、吉田のいいところを知ってもらふ。又、マップを使って、いいところをめぐるウォークラリーを開催する。
実施内容	完成した「てくてく吉田さんぽマップ」を1,800部印刷し、地区内全戸に配付した。小学校・中学校の児童生徒にも配付して、総合学習の中で利用してもらった。市内まちづくり協議会、公民館にも配付して、吉田のいいところの広報を行った。又、新吉中の総合学習の中で、プロジェクト新吉として中学生がマップを使ったウォークラリーを企画・実施した。

活動段階	評価項目	評価点
計画段階	地域の子供から高齢者まで幅広い世代の意見をきいて活動を計画することができたか。	4
	活動の目的・効果を地域のみinnで共有することができたか。	4
	活動に参加するmininnで話し合い活動計画を立てることができたか。	4
	活動計画の目的・効果・内容などを地域住民に周知・共有できたか。 (活動の経費・理由・内容など)	4
	計画段階からより多くの住民や団体が活動に参加できるような呼びかけができたか。 (広報手段・日程調整など)	3
実施段階	活動中、地域住民が積極的に参加できる環境づくりができたか。 (男女共同参画の推進、地域の若者などに対して活動参加への積極的な呼びかけなど)	3
	活動中、参加者や協力団体とお互いの特性を活かした役割分担ができたか。	3
	活動中、地域住民や協力団体と協力して活動を進められたか。	3
	活動の進み具合に応じて、臨機応変に対応できたか。	3
振り返り	活動終了後、活動の成果や課題についてmininnで話し合うことができたか。	4
	地域のニーズに合致した活動ができたか。	3
	活動の成果や課題を共有し、今後の活動に向けて話し合うことができたか。	3
	活動をととして、地域の中でまちづくり協議会の周知と理解を深めることができたか。	4
	活動終了後、活動の成果や課題を地域に地域に向けて周知することができたか。	3

※評価点について

4:よくできた 3:まあまあできた 2:あまりできなかった 1:全くできなかった

活動の成果	現状と課題
「てくてく吉田さんぽマップ」を全戸配付し、吉田のいいところをより多くの住民に知らせることができた。又、マップを使って中学生の企画運営で、吉田のいいところをめぐるウォークラリーを実施した。	「てくてく吉田さんぽマップ」を使って地区内を巡るウォークラリー等の行事を、どれだけ継続して行われるかが課題。又、30年前に公民館が作成した「ふるさとよしだの史跡」の再編集にどのように取り組んでいくかも課題。
今後の活動の方向性・改善策	
配付した「てくてく吉田さんぽマップ」を使って、吉田のいいところを巡るウォークラリーを開催する。ウォークラリーの企画運営は、新吉中の総合学習「プロジェクト新吉」と協力して進めていく。地域の行事との日程調整をして、より多くの地元住民が参加できるよう配慮する。	